

# 計画「知らない」6割超

## キャンパス・リニューアル 学生1229人アンケート結果

### 全学参加ほど遠く 宿舎・駐車場へ要望集中

#### 施設の老朽化や大学院重点化に対応するため、二〇〇〇年秋に始まった「キャンパス・リニューアル」について、本紙は十月二十九日から十一月一日にかけて、学群学類生を対象にアンケート調査を実施した。その結果キャンパス・リニューアルを「知らない」と答えた学生が63%にのぼり、また59%の学生がワークショップや作業に参加したいと考えていないことがわかった。計画では全学参加型がうたわれているが、学生の意識とはかけ離れている実態が浮き彫りになった。アンケートの有効回答者は千二百二十九人。(6・7面に特集、10・11面に設問と集計結果)

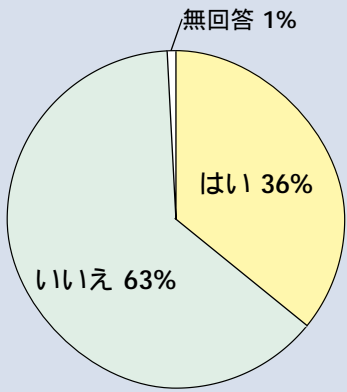
施設の老朽化や大学院重点化に対応するため、二〇〇〇年秋に始まった「キャンパス・リニューアル」について、本紙は十月二十九日から十一月一日にかけて、学群学類生を対象にアンケート調査を実施した。その結果キャンパス・リニューアルを「知らない」と答えた学生が63%にのぼり、また59%の学生がワークショップや作業に参加したいと考えていないことがわかった。計画では全学参加型がうたわれているが、学生の意識とはかけ離れている実態が浮き彫りになった。アンケートの有効回答者は千二百二十九人。(6・7面に特集、10・11面に設問と集計結果)

キャンパス・リニューアルの計画の特徴は、施設づくりに伴って、学生や教職員を巻き込んだ「全学参加」を指すところにある。すでに、二学食堂や体芸食堂、第一、二、三学群の学生控室などがその理念のもとに改装されてきた。しかしアンケートでは、参加できることを知っている学生は27%、実際に参加したことのある学生は全体の2%にとどまった。参加者にも学群・専門学群の偏りがみられた。

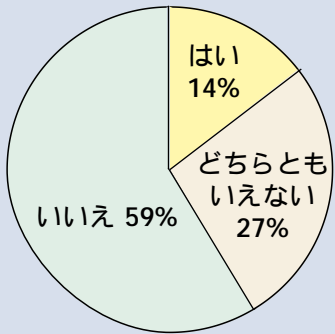
今後、早急に改善して欲しい箇所を尋ねたところ、宿舎地区やペDESTリアン、トイレに回答が集中した。一、二年生では、宿舎に関する要望が多かった。なかでも、一年生の57%が補食室、50%が居室の改善を望んでいることがわかった。また、三年生の39%、四年生の48%が駐車場の改善を要望していた。自由記述の設問ではペDESTリアンや駐車場に対する不満が多かった。

計画自体を知らない学生が6割にのぼること、大規模な活動の見直しを迫られることになりそうだと、今回のアンケート結果についてキャンパス・リニューアルを主宰する施設委員会副委員長(学生生活担当副学長)は「認知度が低いのは残念だが、とにかく学生が興味を持ってくれなければ始まらない」とコメントしている。

あなたは本学で進行しているキャンパス・リニューアル計画を知っていますか



今後、機会があれば、キャンパス・リニューアルのワークショップや作業に参加してみたいと思いますか



### 僕も陶芸家

野性の森で体験教室  
野球場奥の野性の森で十一月三日、つくば市と周辺市町村の小学校四、六年生約四十人が、陶芸を体験した。子供たちは土と格闘しながら、思い思いにこだわりの作品を作り上げた。この事業は、文部科学省の「こども夢基金」の一環で、飯田稔教授(体育科学系)と研究室の学生が指導に当たった。現在、野性の森では陶窯を建設中だ。焼き物の粘土には、工事中に出土した粘土質の土も一部使用された。(写真・望月和美「比較文化学類」)

### 産学連携の窓口

#### 東京にオフィス開設

研究協力部研究協力課の分室として十月一日、本学の東京地区(東京・文京区大塚)に、新しく東京リエゾンオフィスが開設された。産学連携などの支援窓口として、情報の収集などを行う。企業が集中する首都圏に事務拠点の拠点を置くこと、組織的にリエゾン活動の促進や研究資金の獲得をはかるのが狙い。

現在、東大や京大の大学院研究科が、丸の内などにサテライト・オフィスを持つている。しかし大学の事務局として、産学連携などの支援を行う窓口を設置するのは珍しいという。

同オフィスは、企業や各省庁に即時に足を運べるメソッドを活かして、情報を収集し、産学連携に関する動向を調査するほか、本学の研究内容についてのPR訪問し、産学連携への取り組みなどをPRすることにも力を入れている。今年四月に発足した産学リエゾン共同研究センター(センター長・谷田貝豊彦、物理工学系教授)と連携し、同センターの事務的なサポートも行う。

スタッフは研究協力部研究協力課の課長補佐と専門職員の計五人。現在、中小企業が組織する各種団体を訪問し、産学連携への取り組みなどをPRすることにも力を入れている。今年四月に発足した産学リエゾン共同研究センター(センター長・谷田貝豊彦、物理工学系教授)と連携し、同センターの事務的なサポートも行う。



第225号  
編集責任 筑波大学新聞  
編集委員会 委員長 嶺 隆  
TEL: 0298(53)2040・2041  
E-mail: shinbun@sakura.cc.tsukuba.ac.jp  
月刊  
発行所 筑波大学  
茨城県つくば市 天王台1-1-1

紙面から  
組換え植物未承認で栽培  
筑波大 アフガン パンコメ台を寄付  
池田講師 4南極越冬隊に  
バスケット 2年ぶり9回目の優勝  
ズームアップ ツインズ  
リニールール アンケートを議論に反映  
1110 9 8 3 2

4 ミニ特集  
潜入 地下共同溝  
足下に広がる大動脈  
6,7 特集  
キャンパス・リニューアル  
アンケート調査から

### ベンチャー設立件数 本学からは13社 国立大トップに

順位	大学	起業数
1	慶應大	34
2	早稲田大	33
3	龍谷大	21
4	筑波大	13
4	東京大	13
6	東工大	12
6	大阪大	12
6	日本大	12
6	高知工科大	12
10	北海道大	11
10	神戸大	11
10	九州大	11

大学発ベンチャーは現在四百二十四社、そのうち本学からは十三社。菊本慶教授(基礎医学系)を中心とした研究グループが二〇〇〇年度から行っている大規模なベンチャーに関する調査の、二〇〇二年度の第一次調査結果を十月二十二日、公表した。大学発ベンチャーの数は、昨年度の二百五十一社から、今年度は四百二十四社と六八・九%も増加し、起業数は順調に伸びている。

菊本教授は、産学連携や大学発ベンチャーに対する本学の教職員の意識は「まだまだ」と言いながらも、「少しずつではあるが、確実に変わりつつある」と分析している。

技術移転機関(TLO)の活躍やファンドの設置により、ベンチャーを起業する教員への支援政策は、ここ一、二年間で急速に整備されつつある。国立大の教員の兼業規制も緩やかになっている。

調査によると、本学からは全大で四位(昨年は八位)となる十三社のベンチャーが起業していることがわかった(「表」昨年度調査では六社)。国立大では東大と並んでトップの起業数だ。

特に今年は、体育科学系の久野謙也講師が高齢者の健康プログラムを支援する「つくばウェルネスリサーチ」を起業するなど、活発な動きがみられた。産学リエゾン共同研究センターも四月に設置された。近々、ベンチャーを立ち上げる予定の教員も数人いる。

筑波の秋は短かった。間もなくつばにきて三度目の冬を迎える。やがと、故郷・新潟の冬の思い出も懐かしく思われてきた。新潟では、数日しかいない。いつも鉛色の雲が低く垂れ込め、融けかけた雪で足元は泥だらけ。一面の銀世界よりはモノクロの世界という形容がぴったりだ。一年生の冬、晴天の日には「もったいない」と毎日洗濯をした。晴れた冬の日には、洗濯をしないという落着かないというクセが抜けなかった。朝晩の冷え込みは厳しいが、雪が降らず、夜空の星がよく見える。つくばの冬を、満喫していた。ところが今年になって、故郷の冬が恋しい。先日、初雪のメールが届いた。新雪を踏みしめる感触、冷たく湿った空気の匂い、白菜や大根を積んだリアカーを引いて雪道を歩くお婆さん、その後ろをクタクションと鳴らす雪かき機、懐かしい風景ばかりが思い浮かぶ。新潟に住んでいた頃は、雪が嫌いで仕方なかった。消雪機の水が道路に溜まり、車が水をはねると頭からずぶ濡れになる。大学に来て、雪をうらやましがると友人に慣れたこともあった。そんな私も今は雪に憧れを抱く。それだけつくばに馴染んだということだろうか。卒業まであと一年半、就職活動も始まる。数年後、第二の故郷を懐かしく思い出したい。

# 駐車場有料化をめぐる

## 院生から不満飛び出す

### 実施後初の広聴会開かれる

駐車場が有料化されて半年、利用者の声を聞くというゲート化後初めての広聴会が十月二十三日午後六時から、一〇二〇四教室で行われた。学類生、院生、教職員ら約八十人が参加した。

今回の広聴会は、全学学類・専門学群代表者会議(全代会)が交通安全会と共催して行った。全代会が広報、司会、議事録の作成、ビデオによる撮影を担当し、情報公開に一役買った。

交通安全会理事長の富江伸治副学長(学生生活担当)、全代会の板橋雅則議長(日・日三年)の挨拶の後、交通安全会理事の石田東生教授(社会学系)が、今まで寄せられた要望と対応策、今後の予定などを説明した。

石田教授は特に、一日有



院生 科目等履修生の意見が相次いだ(1D204)

効の臨時入構証による駐車場の混雑の原が多く、駐車場の混雑の原因になっていると指摘。現在、同入構証の利用者を調査し、場合によっては値上げも視野に入れていることを明らかにした。

続いて質疑応答が行われた。科目等履修生は「毎日臨時入構証に入っている。科目等履修生は四月の抽選」と述べた。しかし「今年度は既にスタートしてしまったので、来年以降に対応したい」と個人的に考えている

と回答した。

博士課程の院生は「個人の事情が考慮されないまま、入構証の抽選が行われる」と述べた。これに対して石田教授は「個人の事情を考慮するのは正論だが、交通安全会という大きなシステムの中で考慮するのは難しい」と返答した。

資格認定の仕方に不満があるのではないかと、石田教授は「これに対しては、博士課程の院生は「駐車場の利用しているが、女子学生の安全について配慮してほしい」と要望した。富江副学長は「防犯に閉じて、なるべく努力はしている」と返答した。

が、本学周辺は犯罪発生率が高い。結局、自分の身は自分で守るようになって欲しい」と答えるにとどまらな

るが、本学周辺は犯罪発生率が高い。結局、自分の身は自分で守るようになって欲しい」と答えるにとどまらな

るが、本学周辺は犯罪発生率が高い。結局、自分の身は自分で守るようになって欲しい」と答えるにとどまらな

るが、本学周辺は犯罪発生率が高い。結局、自分の身は自分で守るようになって欲しい」と答えるにとどまらな

るが、本学周辺は犯罪発生率が高い。結局、自分の身は自分で守るようになって欲しい」と答えるにとどまらな

るが、本学周辺は犯罪発生率が高い。結局、自分の身は自分で守るようになって欲しい」と答えるにとどまらな

るが、本学周辺は犯罪発生率が高い。結局、自分の身は自分で守るようになって欲しい」と答えるにとどまらな

るが、本学周辺は犯罪発生率が高い。結局、自分の身は自分で守るようになって欲しい」と答えるにとどまらな

るが、本学周辺は犯罪発生率が高い。結局、自分の身は自分で守るようになって欲しい」と答えるにとどまらな

### 一の矢宿舎ゲート化か

交通安全会が七月から九月末まで、各学群、研究科、学系、センターなど計九十六組織に、駐車場のゾーン化、ゲート化についての意向調査を行っていたが、十月末までにその結果をまとめた。

調査はそれぞれの地区の駐車場の状況、早急に必要な両方必要な三つから選ぶもの。第一学群地区二十八組織

では、教職員の車一台につき、一つのスペースが指定されている。ゾーン化を行うと、指定がなくなり、おまかな駐車ゾーンの指定され、入構証があれば誰でも駐車できる。ゲート付き駐車場より料金は安い

ゾーン化 指定駐車場の入り口にゲートを設けること。バスを持つ利用者以外は駐車できない。ゲートのリース料のため、利用料は他の駐車場より一月あたり五百円高い。今年五月から三学群駐車場がゲート化された。

ゾーン化 指定駐車場の入り口にゲートを設けること。バスを持つ利用者以外は駐車できない。ゲートのリース料のため、利用料は他の駐車場より一月あたり五百円高い。今年五月から三学群駐車場がゲート化された。

ゾーン化 指定駐車場の入り口にゲートを設けること。バスを持つ利用者以外は駐車できない。ゲートのリース料のため、利用料は他の駐車場より一月あたり五百円高い。今年五月から三学群駐車場がゲート化された。

ゾーン化 指定駐車場の入り口にゲートを設けること。バスを持つ利用者以外は駐車できない。ゲートのリース料のため、利用料は他の駐車場より一月あたり五百円高い。今年五月から三学群駐車場がゲート化された。

ゾーン化 指定駐車場の入り口にゲートを設けること。バスを持つ利用者以外は駐車できない。ゲートのリース料のため、利用料は他の駐車場より一月あたり五百円高い。今年五月から三学群駐車場がゲート化された。

ゾーン化 指定駐車場の入り口にゲートを設けること。バスを持つ利用者以外は駐車できない。ゲートのリース料のため、利用料は他の駐車場より一月あたり五百円高い。今年五月から三学群駐車場がゲート化された。

ゾーン化 指定駐車場の入り口にゲートを設けること。バスを持つ利用者以外は駐車できない。ゲートのリース料のため、利用料は他の駐車場より一月あたり五百円高い。今年五月から三学群駐車場がゲート化された。

ゾーン化 指定駐車場の入り口にゲートを設けること。バスを持つ利用者以外は駐車できない。ゲートのリース料のため、利用料は他の駐車場より一月あたり五百円高い。今年五月から三学群駐車場がゲート化された。

ゾーン化 指定駐車場の入り口にゲートを設けること。バスを持つ利用者以外は駐車できない。ゲートのリース料のため、利用料は他の駐車場より一月あたり五百円高い。今年五月から三学群駐車場がゲート化された。

ゾーン化 指定駐車場の入り口にゲートを設けること。バスを持つ利用者以外は駐車できない。ゲートのリース料のため、利用料は他の駐車場より一月あたり五百円高い。今年五月から三学群駐車場がゲート化された。

### 遺伝子実験センター

## 組換え植物未確認で栽培

### 調査委設け事実説明へ

遺伝子実験センターの隣、離園場(模範的試験場)で、文部科学省の確認が必要な組換え植物の栽培が、コシの一種を、未確認のまま栽培していたことが十一月五日、わかった。栽培を指示した鎌田博教授(生物学系、遺伝子実験センター長)が、確認は不要だと誤認していたためという。同教授から報告を受けた大学が同日、臨時記者会見を開き、明らかにした。

大学側は今後、高木英明



会見する高木副学長(本部棟8階)

副学長(研究担当)を代表とする調査委員会を設け、複数の学外者を交え事実関係を確認して方針を定める。学内の組換えDNA実験安全委員会も、管理体制を問題のあったトウモロコシは「イベント176」という品種で、害虫や除草剤に強い遺伝子が組み込まれている。今年六月に種がまかれ、十月に収穫された。栽培が行われた圃場は、今年三月に完工した。土壌整備のため、一般植物(自由栽培が認められた組換え植物も含む)を栽培していた。この種は現在、自由栽培(一般栽培)だけが認可されておらず、食品、

飼料への使用などは認められていない。同教授はそのため、確認が必要とは思わなかったと大学に説明しているという。

環境へのどのような影響を及ぼしたかについては、早急に土壌などの検査を行う

い、経過をみていく。現段階では特に影響はみられないという。

農林水産省によると、イベント176の一般栽培については一部の検査項目を除き、ほぼ安全性が確認されているという。

哲夫・臨床医学系教授)に提出し、年内にも国の承認を得たいとしている。

これはフランスで今年、遺伝子治療を受けていた免疫不全症の患者に、重度の副作用が発症したことを受けたもの。この症例で用いられた「レトロウイルス」は、本学の臨床計画でも利用するウイルスだった。同ウイルスを使う遺伝子治療は、国内では本学を含め四機関で認められている。この症例と同じ免疫不全の治療を行う東北大、北海道大の二付属病院は、治療の延期を決定した。

ただ白血病治療への同ウイルスの応用は、免疫不全症と過程が違い、必要に応じてウイルスを死滅させる

こともできる。同様の危険性は極めて低いとされているが、未知数の治療でもあることから、今回の一部変更は踏み切った。

改訂される計画には、インフォームド・コンセントを行う際、フランスの症例とその可能性を伝えることを新たに明記する。また、副作用が生じた場合に備え、治療中の経過観察について、その頻度やチェック項目も増やす。

臨床計画の副総括責任者、小野寺雅史講師(臨床医学系)は「危険性は否定しないが、治療を施さなければ死んでしまう患者もいる。少しでも早く承認を得て、いつでも臨める体制を作りたい」と話している。

院生や科目等履修生の参加者が多く、全代会の広報にも一定の成果があったが、学類生の参加者は少なく、発言も一度だけで、駐車場問題への関心の低さを伺わせた。

総合研究棟Dで安全祈願式を行う

大学院博士課程の人間総合科学研究科に対応する総合研究棟Dの建設が、天久保池南側(体芸地区)で始まった。十月二十四日、北原保雄学長ら約四十人が参加し、安全祈願式が行われた。

総合研究棟Dは七階建てで、延べ床面積は一万四千六百八十平方メートル。この面積は本学附属中央図書館の本館と同規模。二〇〇四年五月には完成予定だ。

ナノテク連携具体化段階へ

三井物産と本学ナノ・テクノロジー(ナノテク)の分野で研究提携をしている本学と三井物産(本社東京・千代田区)は、化学系の関口章教授と赤阪健教授の研究成果について、三井物産が特許化を支援し、基本特許の独占的ライセンスを受けるとも、実用化を進めることが決まった。十月二十二日の記者会見で明らかにした。

本学と三井物産は七月に、この分野に関して、テクノロジーのシーズを産業界に、本学の知財戦略を支援する提携を結んでいる。今回はそれを具体化した初

記念フォーラム開く

「筑波大学と地域や企業との連携を促進するため」をテーマに、産学リゾン共同研究センター(センター長「谷田豊彦」・物理工学系教授)の設立記念フォーラムが十一月十二日、つくば国際会議場(つくば市竹園)で開催された。同センターと茨城産業会議(本部・水戸市)の共催で、講演やパネルディスカッションなどが行われた。県南を中心とする企業関係者や本学の教員など、約二百人が参加した。

フォーラムの目玉となったのは基調講演。堀場製作所(本社京都)の堀場雅夫

宮野教授が死去

宮野敬氏(みやの たか)が、筑波大学地球科学系教授(岩石学)として、十月二十一日午後十一時三十分、敗血症のためつくば市の病院で死去。五十五歳。喪主は妻、素美子(すみこ)さん。

一九四六年生まれ。七〇年東京教育大学理学部卒。本学地球科学系助教授を経て、九七年に同教授。七八年に日本鉱山地質学会論文賞を受賞している。

看護・医療科学類 新設記念式典に168人が出席

十月一日、医学専門学群に看護・医療科学類(学類長「高橋泰子」基礎医学系教授)が新設された。これを記念して、看護・医療科学類設置記念式典と祝賀会が同二十四日、オーケラホール(基礎医学系教授)は「専門職業教育という色彩の強い三年制の短期大学から、より全人的な教育が可能な四年制大学へ移行することができた」と挨拶し、高橋学類長も祝賀会で、筑波大でしかできないようなユニークな取り組みをしてゆきたい」と抱負を述べた。



# 足の下に広がる大動脈

入溝 共同地下



暖房使用期間中、右側の配管には高温水が流れる



## 幅8.5メートルの地下空間に潜る!

広大なキャンパスを持つ筑波大には、青空がよく似合う。空を見上げて、視界を遮る電線はない。その電線はどこにあるのだろうか。この謎を解く鍵は地下にあった。第四学群が存在すると噂されている地下道に潜った。(本紙・竹内旬「社会学類、日影研造 廣野郁恵」比較文化学類、中村詩織、山脇学「国際総合学類」)

## 総延長12キロの百年建築

普通私たちが地下道と呼んでいる場所は、正式名称を共同溝という。「中央の地図」約三十年前の本学設立時には、建物より先が有名だが、このような入り口は全部で十六カ所ある。また本学のすべての建物とつながっている。それぞれ入り口がある。それを東西南北に走っている。共同溝は地下約三メートル、掘られていて、断面をみると、一番広いところで幅八・五メートル、高さ三メートルもある。狭いところでも二メートル四方の大きさだ。もちろん、簡単に人が

「共同溝は、普通に土の中に配管するよりもコストがかかる。それでもなぜ、地下道を作ったのか。電気の高圧ケーブルは五十センチ、学内を毛細血管のように通っている。後々のことを考えると、この方が長持ちするからである。百年建築と言えぬ」と語るのは施設部建築課の小沢光雄計画係長だ。将来、共同溝は壊れにくい強度がある。そうした、このような共同溝のシステムは、現在ほとんどの大学で用いられている。東京大でも設立当初から存在しているという。共同溝は、大学を長生きにするシステムだといえる。

「共同溝内では頭上、足元に気を配ってください」と注意を呼びかける。地下に降りると大きな部屋に出た。無数の配管を避けながら進む。共同溝入口にも入った共同溝は、幅八・五メートル、高さ三メートルの地下道だ。壁に沿って水道管、暖房用の温水、ガスを供給する管が走る。電気系統のケーブル、電話回線ネットワーク回線が、

抑えることができる。管の間を歩いて、直に目で見てメンテナンスすることも可能だ。メンテナンス会社と契約し、主要な配管は月に一度は隅々までチェックをしている。地震にも強い。阪神・淡路大震災級の揺れにも耐えられる。「建物は倒れても、共同溝は壊れにくいから強度がある」という。このような共同溝のシステムは、現在ほとんどの大学で用いられている。東京大でも設立当初から存在しているという。共同溝は、大学を長生きにするシステムだといえる。



各種配管、ケーブルが整然と並んでいる共同溝内

共同溝の利用方法について、新たな提案が注目を集めている。筑波大学キャンパスリニューアル計画の一環として、医学地区で「コ・ジェネレーションシステム」での電力供給システムを導入しようという提案だ。

「コ(Co)は「二つ、ジェネレーション(Generation)は「つくります」の意、二つのもの、この場合は電力と熱を創りだすシステムだ。発電機は、ディーゼルなど燃料を燃やすとき、電力と同時に熱を発生する。通常、発生された熱は利用されず捨てられる。コ・ジェネレーションシステムは、その廃熱を回収し、冷暖房などに他の用途に利用する。これがシステムの基本だ。コ・ジェネレーションシステムには、四つのメリットがある。一つはエネルギーコストの削減、二つ目は省エネルギー性、三つ目は二酸化炭素の排出を削減できること、四つ目は地球環境の保全、四つ目は停電時の保安用電源として利用できること、五つ目は、キャンパス・スリニールに盛り込まれた計画で、一次エネルギーに比べて、エネルギーは天然ガスを活用することによって、環境保護に貢献するとされている。それは、廃熱は、具体的にどのような用途に利用できるのだろうか。廃熱の最も一般的な利用方法は冷暖房だ。附属病院を抱える医学地区は、電気と熱を二十四時間同時に使う。そのため、コ・ジェネレーションシステムが最適だ。逆にキャンパスの中心部は温熱期間が限られているため、稼働率が低く、効率が悪く、ほとんどの冷暖房は大規模中央集約方式で管理されている。臨時で使う教室は空調が効かない、など柔軟な対応ができない欠点がある。そのため、全学で管理するのではなく、キャンパスをいくつかに分け、それぞれの地域の熱供給にすべき、との意見もある。

## コ・ジェネレーション 環境に優しい熱再利用

「コ・ジェネレーションシステムは、二つのもの、この場合は電力と熱を創りだすシステムだ。発電機は、ディーゼルなど燃料を燃やすとき、電力と同時に熱を発生する。通常、発生された熱は利用されず捨てられる。コ・ジェネレーションシステムは、その廃熱を回収し、冷暖房などに他の用途に利用する。これがシステムの基本だ。コ・ジェネレーションシステムには、四つのメリットがある。一つはエネルギーコストの削減、二つ目は省エネルギー性、三つ目は二酸化炭素の排出を削減できること、四つ目は地球環境の保全、四つ目は停電時の保安用電源として利用できること、五つ目は、キャンパス・スリニールに盛り込まれた計画で、一次エネルギーに比べて、エネルギーは天然ガスを活用することによって、環境保護に貢献するとされている。それは、廃熱は、具体的にどのような用途に利用できるのだろうか。廃熱の最も一般的な利用方法は冷暖房だ。附属病院を抱える医学地区は、電気と熱を二十四時間同時に使う。そのため、コ・ジェネレーションシステムが最適だ。逆にキャンパスの中心部は温熱期間が限られているため、稼働率が低く、効率が悪く、ほとんどの冷暖房は大規模中央集約方式で管理されている。臨時で使う教室は空調が効かない、など柔軟な対応ができない欠点がある。そのため、全学で管理するのではなく、キャンパスをいくつかに分け、それぞれの地域の熱供給にすべき、との意見もある。」

「十字路だと水圧が安定しないため、共同溝内はT字路のみ。メインの水道管から左右に配管すると、一方の供給力が弱くなる。場合によってはT字路を二つ繰り返す、目的とする施設へ、水道管などをとけている。共同溝の天井には、一定の間隔で搬入口が設けられている。工事のために必要な資材は、ここから運び入れます。大きな資材になると共同溝内での回転などが、



ループ道路に沿うメイン共同溝は南北一直線に伸びる

「共同溝内では頭上、足元に気を配ってください」と注意を呼びかける。地下に降りると大きな部屋に出た。無数の配管を避けながら進む。共同溝入口にも入った共同溝は、幅八・五メートル、高さ三メートルの地下道だ。壁に沿って水道管、暖房用の温水、ガスを供給する管が走る。電気系統のケーブル、電話回線ネットワーク回線が、













ツインズ

十月初旬、一部新聞が「ツインズに登録された学生の顔写真が、任意として写真集ま...

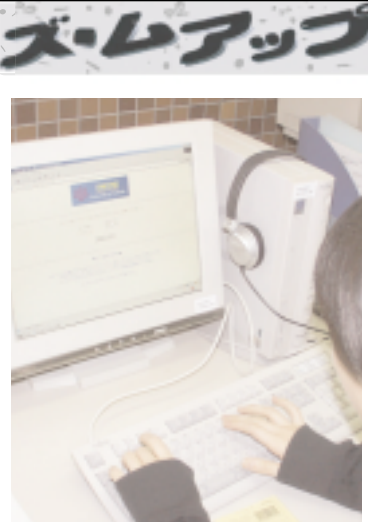
無理解

顔写真の登録 選択制は？ 学生との信頼構築が急務

学生が、顔写真をツインズに載せるメリットを認めれば「任意」として写真集ま...

本来の姿へ

こうした機能は、情報交換の場として欠かせないもの...



学生にとって、履修申請の利便性は、飛躍的に向上したが.....(写真は中央図書館の端末でツインズを使う学生)

新学期システム運営委員長の塚塚武志教授(社会学系)は「情報処理の授業などを通して、学生にツインズのこと...

トイレ格闘記

筑波には秋というものが無いのか。この間までは、暑い暑いと思っていたのに、いつの間にか寒...

あわててトイレに駆け込んでみたら

のトイレに向かった。二階といえば、大学会館の書庫部、朝早かった...



(鬼の田朗)

巨人ファンの悩み

思い起こせば昨年の今頃、平砂十号棟横の広場では壮絶なバトルが行われた。筑波大学の日本シリーズ祝賀会の後のイベントである...

松美池にダイブ!

開幕した。しかし、その結果は存じの通り、圧倒的な強さを見せた巨人が日本一に輝いた。四連勝で西武を寄せ付けなかった。巨人ファンとしては素直に喜ぶべきなのだが、あまり嬉しくない。接戦の末の優勝なら両手を挙げて喜べるのだが今回のような優勝は.....

熊とセブイレブン

学生にはお金がない。かといっていいバイトも見つからない。そこで私は自らの体を張った被験者バイトをすることにしました。心理学の実験で、半日五千円。とてもおいしい。二人組の実験を受け付けているので、先輩を誘った。



話を紹介する。このコーナーは、GNNの読者から募集されたネタを、GNNの編集者が選りすぐりして紹介する。ネタは、GNNの編集者が選りすぐりして紹介する。ネタは、GNNの編集者が選りすぐりして紹介する。

紅葉の季節

この一、二週間で急に寒さが増し、自転車に乗るのが辛くなる季節になった。ふとマフラーから顔を上げると、街路樹が鮮やかに色づいているのに気づく。その奥に覗く空も、少し前よりずっと青く、ぐんぐん高い。その突き抜けるような青に紅葉が映えて、寒さも忘れてしまうような美しさだ。とりわけトウカエデの紅葉は見事である。気温が急に下がるほど葉の色づきがいいとどこかで読んだ気がするが、本当なのだろうか。

伐採される木々への思い

ループを自転車で走っていて、もうひとつ気になることがある。学内の樹木の伐採である。大学建設時に植えられた木だけでなく、大学よりも昔からあるマツ林もどんどん切り倒されている。中には樹齢六十年になるものもあるという。人が生まれてからおじいさんになるまでの時間である。さぞかし色々なものを見てきたことだろうと、まだ二十年も生きていない私はしみじみ考えてしまう。特にひどいのは総合研究棟建設予定の図書館の西側と、天久保池周辺。切られた木の切り株が残り、土がむき出しになっている。痛々しい。残っている木も、ピンのテープが貼られたものはいすれ切られる運命なのだそう。今後また多くの木が切られていくことがわかる。聞けば一部はチップ材として利用されるがほとんどは焼却処分になるらしい。紅葉で彩られたキャンパスを満喫しながら、隣でこんなに大量の木が瞬間に消えていくのを黙って見ているのはなんだか木に申し訳ない気分になる。

キャンパス・リニューアルに関するアンケート 全数表1

Table with survey results for campus renovation. Includes questions Q1-Q6 and their respective percentages for various options (a, b, c, d, e, f, g, h, i, j).

(1面に続く)

# 医学食堂リニューアル第2回WS アンケートを議論に反映



各グループで、様々な意見が飛び交った(医学食堂1階) 運営の四つのグループに分かれて話し合い、発表した。第一回WSでは、食堂全体のイメージとして、インテリアを木製品にするなど「有機質」のイ

二学、体芸食堂に続き、医学食堂が生まれ変わるうとして。また体芸棟の学生控室(いわゆる体バチ・芸バチ)がリニューアルに向けて動き始めた。医学食堂リニューアル第2回ワークショップ(WS)が十月三十一日、医学食堂一階で開催された。学生、教職員ら約四十人が参加した。

今回は十月十五日から十八日まで医学地区の学生、教職員対象に行われたアンケート結果などを基に、議論を進められた。アンケートでは、医学地区の学生、教職員が、近くで安く、素早く食事をとれる場所を求めていることが分かった。現在の医学食堂に対する不満点として、メニューの種類や、照明の暗さ、営業時間の短さなどが挙げられた。

参加者は、食堂のインテリア、食堂以外の空間、の流れや動線、メニューや運営の四つのグループに分かれて話し合い、発表した。第一回WSでは、食堂全体のイメージとして、インテリアを木製品にするなど「有機質」のイメージが提案されたが、今回は新たに、医学地区の食堂らしく内装を単色にし、公募した絵画や写真を飾るという案が挙がった。

今後は家具やその配置、周辺環境などについて具体的に決めていき、第三回のWSで最終的な案を決定する。工事は二〇〇三年の春休み中に行われる予定だ。体芸棟の学生控室リニューアルの第一回WSは十月二十八日、体芸棟二階の芸術専門学群学生控室で行われ、学生ら約四十人が参加した。参加者は、現状の問題などについて話し合った。どのような控室にしたいかを、その場で絵に描いて提案した。

授(社会学系)と青田努さん(リクルートHR)が今年度の実施に向けて調整している。懇親会では、大西治男教授(社会学系)と青田努さん(リクルートHR)が今年度の実施に向けて調整している。懇親会では、大西治男教授(社会学系)と青田努さん(リクルートHR)が今年度の実施に向けて調整している。

能・狂言研究会 20周年迎え秋公演 創立二十周年を迎える筑波能・狂言研究会が十月十六日、開学記念館で秋公演「六花が舞うまで」を行った。

防犯キャンペーン 学生・教員も参加 つくば中央警察署と本学による学生向けの第二回防犯キャンペーンが十月十八日夜、平砂トンネル付近など四カ所で行われた。

芸サ連主催 クリスマスコンサート 芸術系サークル連合会主催の「二〇〇二年クリスマスコンサート」のステージと展示が行われる。ステージは、十一月十一日、十三日に大会館で、開場午後五時半、開演は六時。展示は大会館本館と別館で、同月九日から十六日まで、いずれも入場無料。問い合わせは、090・9379・613(芸サ連企画担当の永井薫さん・人文三年)まで。

## 第2回異業種交流会に90人参加 「アルバイト」を提案



社会人と懇談する学生(一学食堂で) 懇親会では、大西治男教授(社会学系)と青田努さん(リクルートHR)が今年度の実施に向けて調整している。

地域の社会人と学生との懇親会を目的とした第二回異業種交流会が十月十九日、第一学群食堂で開かれ、学生や社会人など約九十人が参加した。学生団体「C4(シフオー)」の主催だ。今回のテーマは「アルバイト」。アルバイトの複合型の制度で、アルバイト形式でインターンシップが経験できる、C4が提案した新しい企画だ。現在、C4と沼尻産業(本社・つくば市

戸)が今年度の実施に向けて調整している。懇親会では、大西治男教授(社会学系)と青田努さん(リクルートHR)が今年度の実施に向けて調整している。

に対し、学生に防犯意識を持たせることがねらい。犯罪に対する警報を載せたヒラ四百枚を配布した。十月十一日から二十日まで地域安全運動期間中であり、自転車のカゴにかぶせ、ひたたくを防ぐ「防犯ネット」百個も配られた。つくば中央署の濱田祐司生活安全課長は「夜十時なのに、学生が平気な顔をして歩いていて驚いた。筑波大生は警戒心が薄い」と話していた。



### 第26回 初日、雨天で3種目中止に 駅伝で教員チーム、5連覇

第二十六回秋季スポーツ・デーが、十月二十六、二十七の両日、陸上競技場などで開催された。延べ三千六百五十人の学生が、スポーツの秋を楽しんだ。初日は雨のため、サッカー、バドミントンが中止に。二日目は気持ちの良い秋晴れとなり、屋内では卓球以外の種目が前日に引き続き行われ、目玉種目の駅伝も行われた。優勝は鍋倉賢治助教(体育科学系)ら五人が集まった教員チーム。今年度の種目5連覇だ。

波部委員長は「雨が降ってしまい残念。今後は、雨天時の対策が課題」と振り返った。

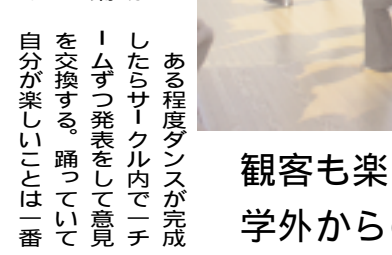
### リアル・ジャム

総合体育館のダンス場。鏡に映った自分の姿を見ながら、何度も同じシーンを繰り返す。床には全身から流れた汗がしたたり落ち、空気が熱気であふれている。そのまっすぐな表情からは、ダンスが好きだという熱い思いが伝わってくる。

ストリートダンスのサークル、リアル・ジャムの練習風景だ。約八十人がヒップホップ、ブレイキング、ロックンロール、ジャズの四つのジャンルの四つに分かれて練習している。

### サークル探訪 28

十月の学園祭では連日、ヨイタイムを開催。四十九人からなる八チームが会場を湧かせた。曲は、三、四曲選び、効果音などを織り交ぜながら削った。観客も楽しむダンスを学外からの出演依頼もあがった。



### 観客も楽しむダンスを学外からの出演依頼も

ある程度ダンスが完成したらサークル内でチームずつ発表をして意見を交換する。踊っていて自分が楽しいことは一番大切なことだ。

## キャンパス・リニューアルに関するアンケート 全数表2

Q 8 今後、機会があれば、キャンパス・リニューアルのワークショップや作業に参加してみたいと思いますか(単回答)	充分取り入れていると思いますか(単回答)	h 食堂 33% i 書籍部 11% j 学生控室 6% k サークル施設 14% l 緑化 6% m バリアフリー 11% n 医療・保健設備 17%
1 はい 143% 2 どちらともいえない 272% 3 いいえ 583% 無回答 2%	1 取り入れている 30% 2 やや取り入れている 229% 3 どちらともいえない 287% 4 あまり取り入れていない 285% 5 取り入れていない 165% 無回答 0%	【交通システム】
Q 9 Q 8で「いいえ」と答えた方のみお答えください。どうして参加したいとは思わないのですか(条件付き複数回答)	Q 11 今後、学生がいただいているキャンパスへの不満や意見を、どのようにして反映させていくべきだと思いますか(複数回答)	o ペDESTリアン 40% p ループなど自動車道 27% q 標識や案内板 2%
a 興味がない 410% b 忙しい 666% c 時間が合わない 226% d 参加の仕方がわからない 128% e 今のキャンパスで満足だ 33% f どの程度意見が通るのかわからない 16% g 一人では行きづらい 116% h やりたい人に任せたい 223% i 実際に参加したが満足できなかった 0% j この中にあるものは 2% k その他 3%	a アンケート 561% b メール 345% c 掲示 239% d ホームページ 468% e 広聴会 18% f 事務区などの窓口 140% g 電話 28% h 投票箱 340% i この中にあるものは 22% j その他 3%	r 駐車場 32% s 駐輪場 35%
Q 10 大学は、学生がいただいているキャンパスへの不満や意見を、	Q 12 以下の箇所で、早急に改善してほしいところはありますか(複数回答)	【宿舍地区】
	【一般施設】	t 居室 40% u 浴場 360% v 洗濯室 360% w 補食室 458%
	a 教室 324% b (実験室など) 研究環境 59% c 図書館 68% d トイレ 317% e ネット環境 165% f (学情・サテライトなど) 共同の端末室 159% g 体育施設 112%	x 食堂 219% y 売店 163% z ごみ集積所 166% aa 宿舍のトイレ 42%
		【その他】
		ab その他 130%
		Q 13 Q 2について、特にどのように改善してほしいと思いますか。ご自由にお書き下さい(自由記述)
		回答者は全体の60% 内容の要旨は特集面を参照



### 宿舎再入居

## 12月3日から申し込み

学生宿舎の来年度再入居者の募集が始まる。今年も例年よりもスケジュールが

早く始まっている。1人部屋の募集告知は、各宿舎の共用棟と事務区に

掲示され、申込書が各管理事務所で交付されている。申し込みは12月3日から6日まで、平砂共用棟の管理事務所のみに受け付ける。抽選は男子が12月11日と12日の両日、女子は13日に行われる。

今年も例年と異なり、くじを引いた時点で、結果がわかる。2人部屋は12月6日に抽選は男子が24日、女子が25日に行われ、こちらも結果はその場でわかる。

### 日本育英会 返還説明会

## 12月11日、大学会館で

日本育英会の職員による返還説明会が、12月11日午後3時半から5時まで、大学会館講堂で開催される。対象者は来年3月に貸与の満期をむかえる学群と

を揃えるほど、性格は正反対だ。関西生まれで努力家の杉浦さんと、関東生まれで天才肌の三村さん。平日は主に石の広場で、休日は東京や竜ヶ崎まで出向いた。三村さんは「スケートパークがないから、筑波で滑るのは苦勞しますよ」と苦笑い。

### 怪我恐れず攻撃的に

### 普及目指す道は別々

アグレッシブ・インラインスケート。縦一列に車輪の並ぶスケートを履く。階段の手すりやハート協会)アマ・チャンピオンシップスで、それぞれ3位、6位に入り、「体育会系やから、練習する時は、くたくたにな

るまでやりたい」と、杉浦さん。一方、三村さんは「楽しく滑るのが一番苦しくなるほどやりたいくない」。

### 石の広場から生まれたプロスケーター

杉浦敦史 さん(システム情報工学研究科1年)

三村真廣 さん(理工学研究科2年)

# Who's Who?



その石の広場からプロが生まれた。杉浦敦史さん(システム情報工学研究科1年)と三村真廣さん(理工学研究科2年)。

「実は今、前歯4本が差し歯なんです。杉浦さんは以前顔からコンクリートに落ち、前歯を折ってしまった。三村さんも、街中で滑っている時にタイルに足を引っかけ、膝の靭帯を切った。それでも、怪我を怖がっていたら、滑れませんでした」ときっぱり。

「でも、何もなければ、逆に集中できてますよ」と苦笑い。卒業後は、「プロとして滑り続けます」という杉浦さんに対し、三村さんは「裏方として頑張るつもり」。自身のホームベージュも開設した。道は違うが、インラインスケートの普及に意気込んでいます。

### 附属図書館で特別展

### 北野天満宮の資料を公開

12月2日～18日まで

附属中央図書館で「学問の神」をささえた人びとと題した特別展が、北野天満宮の文書と記録」と題した特別展が開かれる。期間は、12月2日から18日まで。観覧時間は、平日は午前9時から午後5時まで、土、日曜日は午後1時から午後5時30分まで。

場所は、中央図書館1階の貴重書展示室と和装本閲覧室。入場は無料だ。学問の神様、菅原道真と関係の深い北野天満宮の未刊行の貴重な資料を多数展示する。主な展示品は、「北野天満宮日記」、「北野天満宮寄進状巻」、「北野地域図」など。

### 労作集めてMC展

## 19日～24日、つくば美術館で

芸術研究科の作品展、第18回MC展が、今月19日から24日までつくば美術館(つくば市吾妻)で行われる。この作品展は同研究科の洋画・日本画・版画分野の1・2年生が、日頃の制作の成果を学外の人に見てもらおうと毎年開催している。今年は3分野から51作品が展示される。今回出展する学生の多くは、日頃学外へ積極的に作品を発表し、高い評価を得ている。

### 次号は

12月16日月

発行予定です

### 大学会館書籍部ベストセラー

1	ハリイ・ポッターと炎のゴブレット J・Kローリング/静山社
2	海辺のカフカ(下) 村上春樹/新潮社
3	アルジャーノンに花束を ダニエル・キイス/早川書店
4	海辺のカフカ(上) 村上春樹/新潮社
5	ピク・ファット・キャットとマスタードパイ 向山貴彦他/幻冬社
6	読書力 斉藤孝/岩波書店
7	生きかた上手 日野原重明/ユニーリーグ
8	老いてこそ人生 石原慎太郎/幻冬舎
9	ダレン・シャン( ) ダレン・シャン/小学館
10	南の島の星の砂 Cocco/河出書房新社

# BEST SELLER

10月の第1位は、ハリイ・ポッターと炎のゴブレット。フジテレビ系でドラマ放送中の「アルジャーノンに花束を」が3位。32歳になっても幼児の知能しかないチャーリー・ゴッドン頭をよくしてくるという申し出にとびついた彼は、超天才に変貌した。しかし知能を手に入れた青年の喜びと孤独。11月の催事は、手帳・カレンダーフェア(10%オフ、年内)と、桐蔭書店フェア(語学書コーナー・15%オフ、30日まで)。

## Tsukuba INFORMATION of CULTURE

つくば美術館 0298-56-3711

筑波大学芸術研究科 洋画・日本画分野作品展  
11月19日(火)～11月24日(日)  
内容=洋画、日本画、版画 無料

それぞれの宇宙展・村田敏夫油絵展  
12月3日(火)～12月8日(日)

内容=平面、立体、油絵

第57回県南高等学校連合美術展  
12月10日(火)～12月15日(日)

内容=総合 無料

ノバホール 0298-52-2881

つくば古典音楽合唱団第16回定期演奏会  
11月23日(土) 17:00～

全席自由 前売800円 当日1000円

指揮:鈴木 優 モーツァルト:八短調ミサ曲 他

つくばフィルハーモニー合唱団 第29回演奏会  
11月24日(日) 17:00～

全席自由 一般3500円 学生2500円 小中学生1500円

ヘンデル:メサイア 他

庄司沙矢香 ヴァイオリンリサイタル  
12月14日(土) 17:00～

S席3500円 A席3000円 B席2500円

伴奏:イタマル・ゴラン

筑波大学混声合唱団 第27回定期演奏会  
12月21日(土) 14:00～

全席自由 前売400円 当日500円

木下牧子:光と風をつれて 他

つくばカピオ 0298-51-2886

### つくばカピオ

【ホール】

第13回つくばダンスフェスティバル  
11月30日(土) 公開リハーサル14:30 本公演18:00

公開リハ:前売800円 当日1000円

本公演:前売2500円 当日3000円

牧美佐緒 10th Anniversary Concert  
12月6日(金) 開演18:00

全席自由 4000円

ハンドベルのクリスマス  
第5回グロックンシュピールチャリティーコンサート  
12月14日(土) 開演14:00

全席自由 1000円

図書館情報大学吹奏楽研究会 第14回 Winter Concert  
12月2日(日) 開演14:00

全席自由 無料